

# ラグビー部

創立以来二十数年の歴史と伝統を誇る我が

ラグビー部は寒風すさぶ冬のうちから新たな希望と共に骨身をけずる様な猛練習を始めた。自己を犠牲にして同志を英雄にする美しい精神のこもつた、男性スポーツの華、そして又融和と共同のラグビー精神を養い、先輩のきづいた偉業をつがんとして選手一同は苦しみをもせず練習にはげんだのである。そして実力をためすべく今年第一回目の試合盛岡市民体育大会がやつて来た。

## 市民体育大会

五月四日五日(医大グラウンド)

第一回戦 盛岡一高と対戦

岩手12  $\left\{ \begin{matrix} 6 & 1 & 0 \\ 6 & 1 & 0 \end{matrix} \right\}$  0 一高

と軽くうち破り五日の決勝は強敵盛岡工業高校と対戦。

## 決勝戦

岩手3  $\left\{ \begin{matrix} 3 & 1 & 3 \\ 0 & 1 & 6 \end{matrix} \right\}$  9 盛岡工業

体力を誇る工業に無念ながら破れた。しかしながら選手一同は次の試合に希望を持ち、もくもくとして血の出る様な練習を始めた。体力をつける為に、ロングランニングもやり風の日、雨の日もグラウンドが薄暗くなり身体がへとへとに疲れてもそれでも一生懸命練習に励む。

高体連 五月二十三、二十四、二十五

、三十、三十一日

(医大グラウンド)

第一回戦 宮古水産高校と対戦

岩手12  $\left\{ \begin{matrix} 6 & 1 & 0 \\ 6 & 1 & 0 \end{matrix} \right\}$  0 宮古水産

と練習に練習をつんだ甲斐あつて第一回戦は堂々とうち破り第二回戦は岩谷堂高校と対戦先輩の指導のもとに次の様に勝つ。

岩手12  $\left\{ \begin{matrix} 9 & 1 & 0 \\ 3 & 1 & 0 \end{matrix} \right\}$  0 岩谷堂

かくして好調を持続し第二回戦をも軽く勝つ準決勝、春の優勝校盛岡工業高校と対戦、今年二度目の対戦である

岩手0  $\left\{ \begin{matrix} 0 & 1 & 3 \\ 0 & 1 & 3 \end{matrix} \right\}$  6 盛岡工業

ついに破れ去つた、苦勞もむなしかつた、しかし次にと夏休み合宿練習に励む、諸先輩のもとに技術は上達せり、

七月二十六日——八月五日合宿

機はおとずれた。春の恥辱を今ここにはらしてくれんと、そして又強敵盛岡工業、黒沢尻工業を破らんとして再出発した。

県民体育大会兼国体予選

八月十四、十五、十六日(医大グラウンド)

第一回戦 宮古水産高校と対戦

岩手12  $\left\{ \begin{matrix} 3 & 1 & 0 \\ 9 & 1 & 0 \end{matrix} \right\}$  0 宮古水産

この日は朝から雨が降り続き、雨中戦となつたが選手一丸となつて奮闘し軽く一蹴、第二回戦は最近頭角を表わして来た盛岡農業高校と対戦、

岩手9  $\left\{ \begin{matrix} 6 & 1 & 0 \\ 3 & 1 & 0 \end{matrix} \right\}$  0 盛農

この日も雨中戦となり非常に苦戦したが、我が校奮闘目ざましく、FWよくドリブル等に成功し勝つたのである。

準決勝、重量FWと体力を誇る黒沢尻工業高校と対戦

岩手3  $\left\{ \begin{matrix} 3 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 6 \end{matrix} \right\}$  6 黒工

あゝ無念、奮闘もむなしかつた。この日は泥寧戦であり軽量の我が校には不利があつたのである、選手一同涙をのみ、齒をくいしばつて今年最後の全国高校ラグビー大会を目指して「一にも二にも練習あるのみ」と努力する、十月十二日岩手大学ラグビー部と定期戦を行う、実力を得る為の好機と練習に練習をつみ結局次の様に勝つ、岩手3-0岩大、かくして好調のうちに全国高校ラグビー大会岩手県予選が目前に近づいて来た。全国高校ラグビー大会岩手県予選(医大グラ



ラグビー部は寒風すさぶ冬のうちから新たな希望と共に骨身をけずる様な猛練習を始めた。自己を犠牲にして同志を英雄にする美しい精神のこもつた、男性スポーツの華、そして又融和と共同のラグビー精神を養い、先輩のきづいた偉業をつがんとして選手一同は苦しみを物ともせず練習にはげんだのである。そして実力をためすべく今年第一回目の試合盛岡市民体育大会がやつて来た。

### 市民体育大会

五月四日五日（医大グラウンド）

第一回戦 盛岡一高と対戦

岩手12  $\left\{ \begin{matrix} 6 & 1 & 0 \\ 6 & 1 & 0 \end{matrix} \right\}$  0 一高

と軽くうち破り五日の決勝は強敵盛岡工業高校と対戦。

### 決勝戦

岩手3  $\left\{ \begin{matrix} 3 & 1 & 3 \\ 0 & 1 & 6 \end{matrix} \right\}$  9 盛岡工業

体力を誇る工業に無念ながら破れた。しかしながら選手一同は次の試合に希望を持ち、もくもくとして血の出る様な練習を始めた。体力をつける為に、ロングランニングもやり風の日、雨の日もグラウンドが薄暗くなり身体がへとへとに疲れてもそれでも一生懸命練習に励む。

高体連 五月二十三、二十四、二十五

、三十、三十一日

（医大グラウンド）

第一回戦 宮古水産高校と対戦

岩手12  $\left\{ \begin{matrix} 6 & 1 & 0 \\ 6 & 1 & 0 \end{matrix} \right\}$  0 宮古水産

と練習に練習をつんだ甲斐あつて第一回戦は堂々とうち破り第二回戦は岩谷堂高校と対戦先輩の指導のもとに次の様に勝つ。

岩手12  $\left\{ \begin{matrix} 9 & 1 & 0 \\ 3 & 1 & 0 \end{matrix} \right\}$  0 岩谷堂

かくして好調を持続し第二回戦をも軽く勝つ準決勝、春の優勝校盛岡工業高校と対戦、今年二度目の対戦である

岩手0  $\left\{ \begin{matrix} 0 & 1 & 3 \\ 0 & 1 & 3 \end{matrix} \right\}$  6 盛岡工業

ついに破れ去つた、苦勞もむなしかつた、しかし次に夏休み合宿練習に励む、諸先輩のもとに技術は上達せり、

七月二十六日——八月五日合宿

機はおとずれた。春の恥辱を今ここにはらしてくれんと、そして又強敵盛岡工業、黒沢尻工業を破らんとして再出発した。

県民体育大会兼国体予選

八月十四、十五、十六日（医大グラウンド）

第一回戦 宮古水産高校と対戦

岩手12  $\left\{ \begin{matrix} 3 & 1 & 0 \\ 9 & 1 & 0 \end{matrix} \right\}$  0 宮古水産

この日は朝から雨が降り続き、雨中戦となつたが選手一丸となつて奮闘し軽く一蹴、第二回戦は最近頭角を表わして来た盛岡農業高校と対戦、

岩手9  $\left\{ \begin{matrix} 6 & 1 & 0 \\ 3 & 1 & 0 \end{matrix} \right\}$  0 盛農

この日も雨中戦となり非常に苦戦したが、我が校奮闘目ざましく、FWよくドリブル等に成功し勝つたのである。

準決勝、重量FWと体力を誇る黒沢尻工業高校と対戦

岩手3  $\left\{ \begin{matrix} 3 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 6 \end{matrix} \right\}$  6 黒工

あゝ無念、奮闘もむなしかつた。この日は泥濘戦であり軽量な我が校には不利があつたのである、選手一同涙をのみ、歯をくいしばつて今年最後の全国高校ラグビー大会を目指して「一にも二にも練習あるのみ」と努力する、十月十二日岩手大学ラグビー部と定期戦を行う、実力を得る為の好機と練習に練習をつみ結局次の様に勝つ、岩手3—0 岩大、かくして好調のうちに全国高校ラグビー大会岩手県予選が目前に近づいて来た。全国高校ラグビー大会岩手県予選（医大グラ



ウインド)十月三十一日今年最後のラグビー試合である本校主将により選手代表の力強い宣誓が行われ、第一回戦は今年度岩手青森地区の代表として国体に出場した黒沢尻工業高校と対戦となる、我が校選手一丸となり闘志に満ち必勝を誓つて戦いに望む。

岩手 0  $\left\{ \begin{matrix} 0 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \end{matrix} \right\}$  黒工 0

∴ 抽選負 ∴

あゝかくて今年も終つた、選手一同の努力の裏が結ばれないで残念だ、不運にも天は我に味方せず、この日も泥濘戦であり苦戦をしながらも敵の重量FWを押し我が校FWの奮闘すばらしく80%の球をとつて敵陣に殺倒し、チャンスを作りながら一トライをも上げる事が出来ず、不運にも抽選負けとなり、くやし涙にむせんだのである、しかし我等は力の限り戦つた、敗れて悔なき試合であつた。下級生諸君来年に望みをかける、必ずく勝つてもらいたいものである。我等はただそれのみを願うのだ、先輩の偉業を傷つけた、我等卒業生は今深くお詫びをしつゝ去つて行く、ただ諸君が努力と必勝を誓つて練習に精進されん事を祈りつゝ。

1 2 1 3 3 2 2 3 3 1 2 3 3 3 1 1 1 1

緑夫勇男巖志茂也淳美一朗光夫助夫郎夫三

宣 初 正 益 勝良吳榮章榮功忠哲徳<sup>太</sup>

山上副松田木野木木葉田切田脇谷橋下田木

作村金高吉佐岩佐佐千鎌堀和岩三高坂吉佐<sup>々々々々</sup>

FW

HB

TB

FB

(吉田記)